

町議会議長に今野正明氏が就任

青木彰榮議会議長が、10月23日付で辞職され、10月27日の臨時議会で今野正明議員が議長に選任されました。

就任のあいさつ



白鷹町議会議長 今野 正明

地方創生が声高に叫ばれる中、本町は町制施行60周年の節目を迎えました。私たちを取り巻く情勢は、地方分権、地域主権などの言葉とともに大きな変革期にあります。

急激な人口減少、少子高齢化に加え、本町は2年続けて豪雨災害に見舞われました。また、小・中学校の統合や、庁舎等整備構想、コミュニケーションセンター化構想、第5次総合計画の後期計画策定など、課題や重要案件が山積しております。

このような中、このたび、議長の仕事を受け賜ることとなりました。身の引き締まる思いをいたしております。もとより浅学非才の身であります。自治体運営の一刻の停滞も許されない状況下で、地方議会に寄せられる町民の皆様の声を真摯に受け止め、負託に応える議会運営を目指してまいります。

地方議会は二元代表制、議会制民主主義の合議体です。「車の両輪」の基本に忠実に、議論を重ね、情報公開・説明責任を果たしながら、課題の解決や住民福祉の向上、町政発展のために皆様と共に頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

平成27年4月開校 白鷹中学校

校歌が完成しました

平成27年4月に開校する「白鷹中学校」の校歌が完成し、10月9日、東中学校に両校の生徒・教職員が集まり発表会が開かれました。

校歌は、白鷹町にゆかりのある田勢康弘さん、山崎ハコさん、若草恵さんの3氏に制作いただきました。発表会では、制作にあたって校歌に込められたそれぞれの思いを話され、青春を謳歌してほしいと、生徒にエールが送られました。



田勢康弘さん

「白鷹に住んでいた中学1年の頃を思い出し、当時の自分を励ますように詩を書きました。」

目は世界に、心は故郷に向け、この校歌を声高く歌い続けてほしい。」

山崎ハコさん

「空気が澄んだ空や桜など、白鷹の景色を思い浮かべて作曲しました。」

校歌が歌いたくて学校に行きたくなるような、卒業してもずっと心に残る校歌になってほしい。」

若草 恵さん

「新しい学校なので夜明けを感じさせるような校歌にと思いました。」

故郷を誇りに思っって世界に飛び立って行くようにがんばってほしい。」

白鷹中学校校歌 「友よ」

作詞 田勢康弘
作曲 山崎ハコ
編曲 若草 恵

友よ ああ 友よ
いまから 物語 始まるよ
大人への 入り口に立つ われら
はるかなる道へ
まず 踏み出せ 小さな一歩を
厳しい冬の あとには
桜が きれいに 咲くだろう

山よ ああ 山よ
空へと 羽ばたく 白い鷹よ
なせばなる 鷹山公の 山よ
われら飛び立つ
目を 世界に 心 ふるさと
夢を抱いて つらぬけ
星は かならず またたくよ

川よ ああ 川よ
ひたすら 海めざし 走りゆく
母の胸 命はぐくむ 川よ
水面が光る
あの 静けさ ときに 雄々しく
世のため何が できるか
それを 学びに いま集う

青春 ばんざい 白鷹中学校